

日本共産党 えんど久子市議 9月議会報告

中央小学校は移転すべき

市議会一般質問の初日の9月12日、日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、5項目の質問をしました。

海岸沿いに建つ中央小学校について、津波の心配があり早く移転すべきと、教育長や市長に決断を迫りました。

えんど市議は、東日本大震災直後の昨年6月市議会でも移転を求めています。

早く移転の決断を

えんど久子市議は「震災から1年半たつが協議したのか」と質問。

担当課長は「南海トラフ巨大地震の被害想定では、高さ1メートルの津波の最速到達時間は1時間25分、国の想定津波高は約6メートル。中央小学校の校舎は海拔4.7メートルの位置にあり、校舎4階や国際交流会館・別府公園へと3つの

えんど市議は「財政面やいろいろクリアすべき課題があるからこそ、早く移転という方針を出すべきだ」と教育長の見解を求めました。



国道10号線より海岸側に建つ中央小学校。グラウンドは海拔3.7メートル。校舎は海拔4.7メートル。日本共産党は野口小と統合した際、この地に中央小を置くことに反対しています。

命を守ることを最優先に

教育次長や教育長は「大分県では独自に活断層型地震も含めた詳細な調査を実施し、今秋にも公表する予定。国や県の動向を見極めながら、将来的に移転という状況が発生すれば前向きに取り組んで

いきたい」と答弁。えんど市議は「本当にそれでいいのか。災害はいつくるかわからない。命を最優先すべき。市長の英断を」と迫りましたが、市長も同様の答弁でした。

日本共産党別府市議団のHPやえんど久子のHP「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。別府市議会のHPでは市議会の録画や議事録が見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.525
2012. 9. 12.

日本共産党別府市議団ら

政府各省庁と話し合う

8月29日、30日の両日、政府調査活動として、堤栄三県議をはじめ大分県内の市議ら14名が上京し、衆議院第一会館内の会議室で各省庁と話し合いました。

別府市議団の平野文活・えんど久子両市議も参加しました。

毎年行なってきたが、今年は特に九州北部豪雨被害の問題でも要望したり説明を受けたりしました。

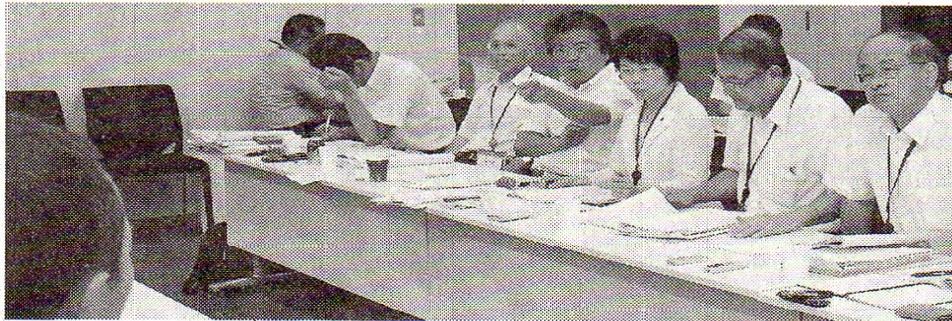
赤嶺政賢衆議院議員、田村たかあき衆議院比例予定候補、仁比聡平元参議院議員も一緒に、みんながんばりました。

これ何れ、練習しよう、つ求め、練、長、い、え、の、か、心、を、と

医療助成へのペナルティー 厚労省、見直し検討

党大分県委に

医療費の助成を独自に実施している自治体に対し、国が科している国民健康保険への国庫負担金減額のペナルティー見直しについて厚生労働省は30日、中長期的な課題として検討していることを明らかにしました。減額措置をやめるよう求める声に背き続けてきた厚労省が新たな認識を示したもので、日本共産党大分県委員会の聞き取りへの回答です。



療費助成はこの数年、市町村の4割が実施す

るまで全国的に大きく拡大。日本共産党は、地域差なく低所得でも安心して医療が受けられるように、国制度として全国一律の子どもの医療費助成を求めています。

ところが国は、医療費の現物給付を「安易な受診増につながる」として、助成どころかペナルティーを継続。党県委は毎年、同省に減額措置の廃止を迫り、大分県など多くの自治体も廃止を申し入れてきました。

厚労省側に見解をただす仁比氏（右から4人目）、猿渡市議（その右）ら30日、衆議院第一議員会館

同省国保課は「財政的に助成実施が難しい自治体をどうするかといったことなどを含め影響を調査・検討していく」とのべました。別府市の猿渡（えんど）久子市議は「障害者の多い別府市では、重度心身障害者について医療費の窓口負担無料化を実施すると、国保への国庫負担金が2億6千万円減額される。自治体の努力に水を差すような減額措置は、中長期と言わず早くなくしてもらわないと困る」と訴えました。

聞き取りには仁比聡平参院比例候補が同席しました。

採決にあたり、にも国際法上も明り

セロの政治決断をする

5%を占めました